

導入事例

Case Study

POS システム更新をきっかけにネットワークを「SmartVPN」で再構築 本社と各店舗間のネットワーク品質向上やセキュリティ強化を実現



「Queensway」（クイーンズウェイ）のブランド名で 40 店のリフレクソロジーサロンを全国に展開している株式会社 RAJA（以下、RAJA）は、初めて日本にリフレクソロジーを紹介したパイオニアです。POS システムの更新時にネットワーク品質やセキュリティ強化を目的とした「SmartVPN」による通信インフラの再構築を実施しました。インフラ再構築のほか、「フレッツ」を利用するアクセス回線の契約をソフトバンクが代行するサービスをご用意するなど総合的な提案力について評価をいただきました。



効果と課題



株式会社 RAJA
営業推進部
情報システム課
小川 正秀 氏

課題 POS システム更新を機に ISDN 回線から光回線へのネットワーク移行を検討していましたが、システム担当者の作業負荷が課題でした。

効果 「SmartVPN」に接続する「フレッツ」のアクセス回線の契約や保守をソフトバンクが代行するサービスによりシステム担当者の負荷を最小限にできました。

課題 各店舗からインターネットへ接続するときは、一度本社のネットワークを経由する構成だったため高いネットワーク負荷が発生していました。

効果 本社と各店舗を結ぶ「SmartVPN」から直接インターネットに接続するゲートウェイ「セキュアインターネットアクセス 2」を設置して負荷分散を実現しました。

課題 重要な情報をやり取りするネットワークのセキュリティに不安を感じていました。

効果 本社と各店舗間は「SmartVPN」、インターネット接続には高いセキュリティアクセスが可能な「セキュアインターネットアクセス 2」を利用することで高いセキュリティ環境を確保しました。

導入の背景 ●●●●● POS システムの更新時に ISDN 回線を光回線へ

全国に 40 店のリフレクソロジーサロン「Queensway」を展開する RAJA は、ISDN 回線を使用した POS システムの更新時期を迎えていました。予約、会計、シフト管理、勤怠などを管理するこのシステムは売上データを 15 分おきにサーバへ送信し、その他のデータは夜間自動更新処理でデータセンターに送信していました。

「新しいシステムではリアルタイムでデータをサーバ送信するた

め、ネットワーク負荷が増大します。そのため光回線の導入が必須要件となりました。システム開発会社からは、一般家庭レベルの光回線でも十分、かつ通信は暗号化するので VPN は不要とのことだったので、一般的な光回線を利用したインターネット接続を想定して各社から見積りを依頼していました」と小川 正秀氏は振り返ります。

選択のポイント・・・ システム担当者の負荷軽減とセキュリティレベルの向上

「ただ、一般的なインターネット回線はセキュリティ面で不安を感じていました。また、回線が開通するまでの契約では回線保守・管理はすべて自社で賄う必要があり、業務負荷の増大も気がかりでした。そうした時にソフトバンクから受けた提案は、本社と各店舗を高セキュリティ回線サービスの『SmartVPN』で接続し、アクセス回線は店舗側が『フレツ光』、本社とはファイバーコネクトを利用するというものでした。この提案で最も評価したのは『ワンストップパックプランF』というサービスで、本来は自社でNTT

東日本、NTT 西日本と契約しなくてはならない店舗の『フレツ光』回線の敷設を、ソフトバンクが環境構築からその後の保守管理まで窓口を一本化して業務を代行してくれるという内容でした」と小川氏は語ります。

全国 40 店舗のアクセス回線を切り替える作業は約 3 ヶ月で完了しました。もし自社で回線敷設作業を行っていたら、とても 3 ヶ月では完了できなかっただろうと小川氏は述べます。

導入の概要と効果・・・ セキュアなネットワーク基盤が実現

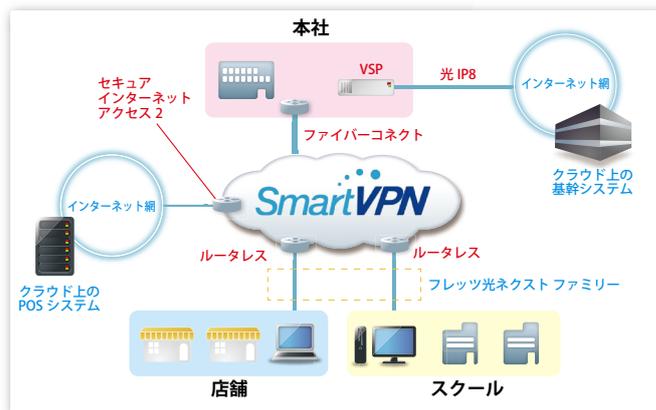
現在 RAJA のネットワーク構成では、店舗から「SmartVPN」上のゲートウェイ「セキュアインターネットアクセス 2」を通してインターネットに接続し、クラウド化された POS システムおよび T-POINT システムにアクセスしています。以前は本社に接続してからインターネットにアクセスするネットワーク構成だったため、本社側のネットワークに高い負荷が発生していましたが、現在は解消して安定した接続環境を実現しています。

「『SmartVPN』を選んでよかったと実感しているポイントは、POS システムのメンテナンス性向上でした。『SmartVPN』では端末ごとに固定の IP アドレスが振られるため、開発会社からリモートアクセスでシステムメンテナンスが行えます。もし一般的なインターネット回線を選んでいたら IP アドレスは動的に割り当てられてしまうのでリモートアクセスができず、メンテナンスコストが増大していたことでしょう」と小川氏は導入効果を語ります。

当初は店舗の POS システム対応の時に導入した「SmartVPN」でしたが、その後 RAJA の運営するリフレクソロジー・スクールも「SmartVPN」を利用するように構築しました。店舗と違って、

スクールでは PC を使ってメールやカレンダーなどのグループウェアも利用しています。「以前は一般的なインターネット回線を利用していたので、セキュリティ上本社の基幹システムへアクセスできませんでした。しかし『SmartVPN』を利用することで高度なセキュリティコントロールが可能になり、本社の基幹システムへアクセスできるようになりました。また、大きなサイズのファイルを送信できるようになったことで、本社サーバから講義内容の動画配信もできます」と小川氏。

全国のリフレクソロジー・スクールでは、東京校での講義内容を TV 会議システムで受講しています。その時間に出席できなかった生徒に対して、以前は講義を録画して DVD に収録、その後郵送するという手間のかかる作業を行っていました。現在は各学校の PC から本社サーバにアクセスできるので、補講を受けたい生徒が聴講したい動画をいつでも閲覧できるようになりました。



導入したサービス

「ホワイトクラウド SmartVPN」は「Cloud Ready」（クラウドとの親和性の高さ）をコンセプトに開発した VPN サービスです。アクセス回線やゲートウェイ機器、VPN サービス、バックボーン回線などあらゆるサービスをトータルで提供します。多様なサービスラインナップで、コストや要件に応じて最適なネットワークを構築。「マネージド CPE-S」と組み合わせることにより、ネットワークから周辺機器まで、運用保守を一元化できるのも大きな強みです。

今後の展開・・・ 店舗でのタブレット端末活用やデジタルサイネージも検討

以前より全店舗にタブレット端末が導入されていましたが、グループウェアの利用に限定されていました。「SmartVPN」ではモバイル端末からもアクセスできる「モバイルアクセスゲートウェイ」も用意されているので、今後はタブレット端末の用途拡大も検討しています。

「本社と各スクールをテレビ会議システムで繋ぎ、公開講義や毎月の店長会議を実施しています。各店舗のスタッフは最寄りのス

クールに集合して TV 会議に参加してもらっていますが、移動時間や交通費がかかっています。店舗のタブレット端末から TV 会議システムに参加できれば利便性の向上につながり、コスト削減・時短が実現できるので今後検討していきたいと考えています」と小川氏。現在進めている店舗のデザイン変更に合わせてデジタルサイネージの導入も計画中等と、新しいネットワーク基盤の活用に意欲的な RAJA。今後のワークスタイル変革による飛躍が期待できます。

株式会社 RAJA

本社：東京都中央区銀座 3-2-9 RAJA ビル

設立：1996 年 7 月

資本金：5,000 万円

従業員数：600 名（グループ合計）

概要：クイーンズウェイブランドの生みの親である藤田 桂子氏がイギリスで体験したリフレクソロジーを日本に普及させるため日本リフレクソロジー協会を設立したのが RAJA の始まりです。「リフレクソロジーサロン クイーンズウェイ」の運営のほか、リフレクソロジー育成の「クイーンズウェイ リフレクソロジー・スクール」による資格制度を設けるなど、高い技術に裏打ちされた高品質サービスを提供しています。

URL：<http://www.queensway-salon.jp/>



※パンフレット記載内容は、2015 年 9 月現在のものです。